【特集記事】寄贈資料がつむぐ さかどの記憶 家族の記憶、

の古記録 年(一九三七)に勃発し日中戦争 海で戦死した人物・A氏にまつわる記録です。 格的な幕開けとなった第二次上海事変に出征 今年度、 ご寄贈いただいた資料の中心となるのは、 式をまとめてご寄贈いただきました。 市 民の方から明治時代から戦後にかけて (支那· 事変) 昭和. 坂戸に 十 本



きます。 らは、 軍隊手帳に記された行動の記録 様子を事細かに復元することがで 亡くなる直 |前までのA氏

む家族にあてた書簡

0

内

紹

真は特に貴重なものです。 よるA氏の町葬の様子を記録した写 た慰霊祭の様子や、 者を供養するために上海で行 記事や写真類にも注目です。 また、 当時の様子を伝える新 旧• 坂戸町に わ 誾

なものとなっています。 がまとまって残されている点で貴重 ものです。 の歴史を継承していく上でも重要な 記録(記憶)は、 このような個人や家族にかか 複数の世代にわたる記録 今回ご寄贈いただいた資 坂戸のまち全体 わる

な紙でできた封筒に入れて大切に保 質を放出しにくい中性紙という特 ご寄贈いただいた資料は、 活用させていただきます。 化学物

大川平 (示中 良区 ک ۰3۰ るさと三 芳 野 展

日本の製紙王」と呼ばれた大川

ます。 郎の様 まで展示しています。 ポンプを展示の目玉として、 館ホールにて、 マップもご用意しています。 一芳野 介します。 一郎による郷 地 々な業績をパネルで解説 ゆかりの地をめぐる散 区 |横沼 平三郎 土 令和四 $\overline{\wedge}$ 貢 付 が 年三 出 献 事業を た消 身 月 資 地 策



板西 極の

ました。 出張展示の展 **小替えを行** 坂 階
ホ 戸 市 役 ル

武蔵 しています。 てご紹介しています。 をテーマにした展示です なんと高さが二メートル以上あ ある「万福寺の板石塔婆」 で展示しています。 板石塔婆」の実物大レプリカは く始まったのは、 碑が出 武士・ 展示解説シ 浅羽行成の供送した三福寺遺 令和四 中 ートもご用 世の (裏面 年 一万福寺 八月末ま 遺 入 に続 人養塔で 西 跡 につ 大量 地 B

芸員のイチオシ

コのことで、 表

面

種行

うな横 出土した中 三年 成果について展示します。 長の形をした須恵器 十二月十六日 原遺 日 「ふれあ」 跡 水 Ė. 二階にて、 を予定 (木) 区 になどの 横ょ 坂 瓶~

ですが

今年度は開

影響により中止となった出

昨 年は

新

ています。 平成三十

年度の発掘

調

査

す。

こ予

<u>一</u>

四

П

埋

蔵

文

化

貝才

出

土

品

展

遺

跡

七

区

ラグ

/ビー

ル

 \mathcal{O}

大量の土器が出土した前林 今年度ご紹介するのは 型コロナウイルス流 ほどの大きさのカードの四隅には、 する業者に対して、 の特集記事でご紹介した新収蔵資 催を予 本資料はカイコの卵 商者之證」 一成果で 土 定 品品 行 埼玉県が発行した認可証です。 をご紹介します。 ています 令 調 が 十二月二十二 戸 和 市文化会館 査 (蚕種と呼びます) カイコの成虫や繭 料 震さ り、 (蚕) 大正 とはカイ を販売 定期券 カイコ 時

の幼虫のえさとなる桑の葉っぱといった、 養蚕業に関連する

7死許太 二依り縣種賣買業者 發種繭賣買業者取 大正十五年 五 玉 市郡 には、 作成 ました。

モチーフが繊細 描かれています。 な 銅 板 画

いますが、 関連の民具を多く収蔵して 期にかけて、 広がる様子が描かれています。 が非常に盛んに行われて 資料館では、 江戸時代後期から昭 した地図 高 明治時 麗川 証書類は初の この他にも養蚕 坂戸では養 沿いに桑畑が 「迅速測図で代に陸軍が 和 初 が

載

祖神です。 れる神であり、 ぐために集落の入口や辻などに祀ら えます。 回ご紹介するのは、 道祖 道祖 神 「塞の神」 神とは、 信仰は 江 とも呼 邪気を防 島 戸 田 時 \mathcal{O} 道さ



されていますが、 少なく、 長野県では多くの石 後期に盛んになり、 件のみとなっています。 坂戸市内では島 埼 像 玉 特に 一県で 石 群 \blacksquare 碑が 馬県 0 大変 残 例

> や藤 神が、 坂戸 ります。 感じます。 残されていることには深い意義 変しの かうための重要な地点でした。 をこえて吉見・ 道が通っており、 ,市にたった一 岡 往来のはげしかった島 入 群 島 り口にあたる位置に ·馬県) 田には、 基しかない 東松山方面 をつなぐ児 島田橋で越 川越と吉見 道 田

の証人です。 ちなみを長く見守り続けた歴 まってしまっていますが、 現在では、 下半分が 土 坂戸 \mathcal{O} 中 に (D) ま 埋

坂戸市立歴史民俗資料館だより 第2号

【発行】坂戸市立歴史民俗資料館 令和3年11月1日 〒350-0212 埼玉県坂戸市石井 1800-6

FAX

蔵となります。

(足立)

七

島

田 七

の道祖神は明和八年 に建てられたもので、

【利用案内】 入館無料・月曜日~金曜日 開館 (祝日・年末年始のぞく) 午前9時~午後4時

049-284-1052 049-284-1128

